Ⅴ．研究の全体構造図

【研究主題】

社会認識を深め、社会とかかわり続ける力を育む社会科学習の創造

～「学習活動分析表」を用いた、単元デザインによる授業改善の推進～

【目指す子ども像】

・社会的事象を深く学び、社会認識を深めていく子ども

・主体的な学びを通して、社会とかかわり続ける子ども

【研究仮説 1】

子どもの社会認識を形成するためのプロセスを意識した単元構成を工夫することで、学びを通して主体的に社会にかかわり続ける子どもを育成することがで

【研究仮説 2】

社会的事象から「なぜ？」「どうして？」と疑問をもたせ、探究する授業構成を工夫することで、社会的事象を深く学ぶ子どもを育成することができるだろう。

【研究仮説 3】

子どもの実態を踏まえた学習の中で一人一人の学びを的確に評価することで、自分の考えを深め、社会に関心を持ち続ける子どもを育成することができるだろ

【研究内容１】

子どもの社会認識を形成していく単元構成の工夫

①社会認識を獲得するプロセスを意識した単元構成の工夫

②身近な素材を教材化し、学びを通して社会とかかわる場の設定

【研究内容２】

「なぜ？」「どうして？」と疑問をもたせ、社会的事象を探究する授業構成

①問いや資料・教材の吟味

②社会的事象を探究し、捉えなおす（再構成）場の工夫

【研究内容３】

学びを深め・子どもを伸ばす評価

①評価の種類と活用

②思考をまとめ・思考の伸びを見るために「書く」

【市町村研究内容１】

社会認識形成の過程を可視化する「学習活動分析表」の活用

石社研研究内容１-①の重点化

【市町村研究内容２】

生活にかかわりのある資料提示や発問の工夫

石社研研究内容２-①の重点化

【市町村研究内容３】

書き方を提示したうえでの振り返り

石社研研究内容３-②の重点化